

爪切り屋メディカルフットケアJF協会 協会通信

NO.10

2011年8月 発行

編集・発行/爪切り屋メディカルフットケアJF協会 広報委員会
〒179-0085 東京都練馬区早宮3-12-5 Tel.03-3992-1824 Fax03-3992-3309

連載“私とフットケア”は今回お休みします。

平成23年度(2011)定時総会報告・・・2011年6月26日

平成23年度爪切り屋メディカルフットケアJF協会定時総会は4月23日に予定されておりましたが、3月11日の東日本大震災の影響により延期となっていました。被災地の会員の皆様はまだまだ落ち着かないと思われませんが、6月26日に中野サンプラザの研修室で、出席者26名、委任状45名(会員総数102名)司会折笠理事、議長三枝会員で開催されました。議決等の内容については総会議事録が事務局から郵送されていますのでご確認下さい。今後理事会で検討していく課題として、スタンダード版などをどのような形で会員の共有財産とするか等があります。これらの検討事項についての皆様のご意見を事務局あるいは理事までお寄せ下さい。

事務局
からのお知らせ

会員証はお持ちでしょうか？
研修会、総会で名札として使用します。
まだお持ちでない方は、写真と返送用封筒
をご準備の上、
事務局までお申し込みください！



第17回研修会 報告・・・2011年6月26日



第17回研修会は定例総会後に行われました。例年総会後の研修会では、済生会川口病院皮膚科主任部長の加藤卓朗先生に特別講演を依頼しており本年度もその予定でした。しかし、3月11日の震災の影響で定時総会自体が延期になったことに伴い、特別講演は9月10日に開催となりました。

そこで、宮川会長による「スタンダード版を活用した講演」の模擬講演となりました。スタンダード版の構成の意味から始まり、実際のデモストを橋本理事と宮川会長が行い、さらにゾンデやニッパーの使用法を実技として伝えていく時の注意点について実際に体験する場面を組み入れて丁寧に指導がされました。

その中のいくつかの技術のポイントを報告します。

- ① 趾を持つ時に人差し指は伸ばした状態で足裏から支えていると、いきなり足を動かされても安全であること。
- ② 中指と親指で趾を上下から持つ時には、中指と親指で丸い形を形作っていると、趾はソフトに感じられること。
- ③ 爪切りの仕上げのヤスリかけは、背爪に左右から中央に向けてかけた後、爪甲縦条に沿ってかけるという原則の確認。
- ④ 爪を切る時のニッパーの刃の角度の確認。 等の基本と原則を再確認する機会となりました。

第1回 爪切り屋メディカルフットケアJF協会主催講演会 報告

・・・ 2011年7月30日

講義を行う宮川会長



爪切り屋メディカルフットケアJF協会が初めて企画・運営を行う講習会が、2011年7月30日(土)10時から16時まで練馬区役所会議室において、講師宮川会長、アシスタントに全理事があたり開催されました。

広報用チラシでは“爪切り屋メディカルフットケアJF協会会長宮川晴妃の身につけたい正しいフットケアの知識と実技”を謳い、テーマを「病院・施設・在宅におけるフットケアの必要性と実際について」とし、参加費を13,000円としました。

午前は宮川会長の講演と橋本・木村両理事の実技デモンストレーション。午後は3グループそれぞれに2名のアシスタントが付いて実技演習で5時間の講習会です。

参加者は看護師・介護福祉士・ホームヘルパー・美容師など現場にかかわっている23名でした。

器具の使い方の説明
をする講師



実技デモスト



相モデルでの実習



今後爪切り屋メディカルフットケアJF協会主催研修を企画・運営する際の参考になるように準備や運営の概略を報告します。

(1) 企画

教育企画委員会を中心として全理事で理事会および準備委員会を開いて検討。

(2) イベント事務局

総務委員本林氏が対応。電話申し込み者などへ詳細を郵送、入金確認、必要物品(ニッパーなどの物品は早宮教室からのリース)の確認と準備など。

(3) 広報

協会ホームページ担当木村氏が広告チラシ・申し込み用書を作製しホームページに掲載。雑誌おはよう21のインフォメーション欄に掲載(無料)、広報委員関根対応。

FAXDM 2038件送信(練馬区中心に施設病院など)、馬籠会員の協力を得て事務局対応。

(4) 運営

司会、受付・会計、アシスタントに全理事対応。

その他兼務として、器具担当・PC担当・配布資料担当・会場担当と役割を分担。

(5) 会計収支

23名×13000円の収入に対して、会場費、FAXDM代、郵送代、封筒代、器具貸出料、薬品・消耗品代、アシスタントの交通費などの経費が支出されました。

宮川会長が講師料を協会に寄付されました。収益はJF協会に納入。

今後の課題として、講師料・アシスタント料・事務局費をどうするかがあります。

(6) アシスタント

実技では受講生10名にアシスタントを2名とし、アシスタント全員の技術を揃えるために、事前に宮川会長または橋本理事に基本と原則を確認する実技指導を受けました。

〈7〉アンケート結果（回収率 100%）

年齢

20代：2名（8.6%）、30代：3名（13.0%）、40代：11名（47.8%）、
50代：5名（21.7%）、60代：2名（8.6%）、70代以上：0名

職種

保健師：0名、看護師：10名（43.4%）、准看護師：0名、PT：0名、
OT：0名、社会福祉士：1名（4.3%）、介護福祉士：5名（21.7%）、
ホームヘルパー、2名（8.6%）
その他（歯科助手：1名、大学生：1名、美容師：2名、施設長：1名）

講習会を何で知ったか

インターネットのホームページ：5名（21.7%） FAXDM：4名（17.3%）
郵送DM：3名（13.0%） おはよう21：2名（8.6%）
上司の情報提供：3名（13.0%） その他：6名（知人、友人、職場）（26.0%）

受講の動機

フットケアに関心があった：16名（69.5%） 自己学習・問題解決のため：8名（34.7%）
上司に勧められた：3名（13.0%） その他：0名（ ）

講習会の満足度

大いに期待にこたえる内容だった：14名（60.9%）
ほぼ期待にこたえる内容だった：9名（39.1%）
あまり期待にこたえる内容ではなかった：0名
全く期待にこたえる内容ではなかった：0名

ご意見ご感想の抜粋

- ・自己流でフットケアをしていましたので、実践的な研修になりました。高齢者を見ていく上で足は重要なことと理解しています。私たちのクリニックは「足から見える生活」をテーマにフットケアに関心を持っていました。今回の研修で確信を持つことになりました。ありがとうございます。もっと広めていきたいと思えます。爪は難しい。（看護師）
- ・爪の切り方を変えれば、次の爪の伸び方が変わってくるとは驚きでした。仕事上高齢者の方達の爪を切ることが多いのですがこれまで間違っていたことがいくつも分かりました。1日通して、とても楽しかったです。もう少し勉強しないととも思っています。どうもありがとうございました。（介護福祉士）
- ・対一で指導して頂けてわかりやすかった。技術の習得にはまだ回数をかさねる必要があるので再び同様の講習があればと思います。うおのめ、たこなどの対応処置を次回教えていただければと思います。（看護師）

講演の様子はホームページの会員限定ページにアップ致します

第26回理事会 報告・・・2011年7月31日

日時：2011年7月31日 10時～夕方

場所：早宮教室

出席者：宮川会長、大須賀、橋本、安、関根、宮垣、大河原、本林、折笠、木村

決定事項

1) 会員限定講習費用について

- ・早宮教室の卒後研修受講料が1日で5千円に比べて、受講料1万円は高いのではないかとの意見であったが、実践経験と自己研鑽の蓄積を持つ会員の貴重な知識と技術の伝達に対しての対価として1万円を妥当とする。
- ・これまでの通り受講料の6割を講師料とし（交通費、材料代含む）、協会が4割受け取る。
- ・会場費は年間早宮教室使用料（理事会、会員限定講習等）を3万円としてその中に含む。

2) 今後の限定講習日程

- ・日程：11月20日（日曜日） 時間：13時～17時
講師：大須賀 範子 氏 「異常爪のケア」
定員：10名
- ・予告：平成24年2月18日（土曜日） 講師：安 由起子 氏

- 3) 協会主催の年3回の研修会参加費の徴収方法について
原則口座振り込みとする（振込に時間が無いという方には当日の支払いも可とする）
- 4) 賛助会員について
- a 賛助会員の特典としてフットケアを無料で年1回うけられる（サロンに限らない）
 - b 年3回の研修会に会員料金で参加できる
 - c 協会通信を受け取れる事とする

※ 詳細はホームページの会員限定のページにアップします。

会員便り 小郡市社会福祉協議会ヘルパー研修・・・2011年6月12日

- ホームヘルパー研修「基本的なフットケア」講演を行って 報告者 木村 鉄也

社会福祉法人小郡市社会福祉協議会の「高齢者の介護に携わるホームヘルパーを対象に、必要な知識及び技能の向上を図る事を目的とした研修」において登録ヘルパー20名に基本的な爪の構造、足浴の方法、家庭用爪切りでの切り方等のお話をして実際に経験していただきました。受講者からは爪の大切さが良く分かり爪を切る時に十分に気をつけなくてはと反響を頂きました。依頼者からはヘルパーだけが理解していれば良いと言うのでは足りない和小郡市社会福祉協議会だよりNo.136号に4ページの特集をして頂き広く一般に広報して頂きました。



⇒ 内容は URL: <http://shakyo.ogori.org> を参照ください



教育企画委員会 からのお知らせ

予告

会員限定講習

日時：11月20日 13:00～
場所：早宮教室
講師：大須賀範子氏
内容：異常爪のケア

第18回 研修会

日時：平成23年9月10日 受付13:00から
場所：中野サンプラザ 研修室6

特別講演：済生会川口総合病院 皮膚科主任部長
加藤 卓朗 先生
会員報告：川崎 美織 氏

詳細は郵送案内を御確認下さい

= 訃報 =

事務局・総務・広報と協会に貢献されてきた高橋すみえさんが、8月11日にご逝去され16日に豊玉ホールにて音楽葬が営まれました。

ご存知の通り高橋さんは宮川会長の娘さんでもあり、会員と会長の間の調整役としても協会に無くてはならない方でした。とても悲しい別れではありますが心よりご冥福をお祈りいたします。

編集後記

高橋すみえさんは広報委員会にとって、かけがいのない存在でした。高橋さんのJF協会に対する熱い思いを引き継いでいきたいと思えます。

本号から九州の木村会員が加わりました。得意のパソコン技術や柔軟な発想でより読みやすく分かりやすい協会通信にしていきたいと思えます。より良い協会通信にするために皆様のご意見をお寄せ下さい。 広報担当 関根・木村